

<概要>

- アスフラ大統領と教育、インフラ、保健、治安など各閣僚が、政権発足６カ月の分野別成果を発表した。
- 干ばつの影響を受けて、緊急事態対応省（COPECO）は、更に２８自治体を赤色警報に引き上げた。これにより、２９８自治体のうち１０３自治体が赤色警報となり最大警戒レベルとなった。
- アスフラ大統領はブリセーニョ・ベリーズ首相と会談し、二国間関係の強化を目的とした保健、貿易、投資、安全保障、教育などの両国の関心分野について協議した。
- アスフラ大統領は、ハーディ米国貿易開発庁（USTDA）次官と会談し、ホンジュラスの開発促進と投資環境の改善が期待される分野であるインフラ、物流、エネルギーに関する取り組みについて議論した。

<本文>

１ 内政・経済

（１）アスフラ大統領による政権発足６カ月の分野別成果発表

ア 教育分野

アスフラ大統領は、公立学校に対する計１，０００万冊の教科書配布に関して、２０２６年を通じて段階的に進めており、２０２７年には全国で必要な教科書が行き渡る見通しであると述べた。また、学校施設を緊急度に応じて順次修繕するとともに、特に従来型のインターネット接続が困難な地域を念頭に、スターリンクとの合意を通じて公立学校へのインターネット接続を進めるとしている。

イ エルレル・インフラ大臣は、政権発足後最初の６か月間に７２件の事業を発注し、舗装道路２，２００キロメートル以上及び未舗装道路１，２００キロメートルを補修したと述べた。

ウ カスティージョ保健次官は、保健省（SESA）の組織再編を進め、事務部門の人件費を削減する一方、医療現場の人員を強化し、医薬品、医療・外科用資材、酸素及び病院医療等の優先分野へ資源を振り向けていると述べた。また、地方における「La Salud Mas Cerca de Usted」プログラムでは、これまでに５，０００人以上を診療し、１万８，０００件以上の医療サービスを提供した。また、停止していた手術室の再稼働及び専門人材の採用を進め、公的医療機関において４，０００件以上の手術を実施したと発表した。

エ ベラスケス治安大臣は、国内の暴力犯罪の約７０％が約３０市に集中しているとの分析に基づき、これらの市に警察資源を重点投入していると述べた。政権発足後１８０日間で１１７の犯罪組織を摘発・解体し、約５，０００人を拘束した。また、殺人件数は前年同期比６％超減少し、約１００人の死亡減に相当するとした上で、年末までに殺人率を少なくとも２ポイント低下させることを目標としている。

オ アルゲニャル住宅大臣は、国際金融機関からの借款を通じて、第一段階として１万世帯を対象に住

宅不足の改善を図る方針を明らかにした。また、低所得世帯の住宅取得を促進するため、住宅融資金利を従来の約１２％から初年度約４％に引き下げる支援制度を導入し、頭金及び返済補助を組み合わせるとしている。極度の貧困世帯を対象とする「Hogar Mas Esperanza」により、対象世帯が土地を提供することを条件として住宅建設を全面的に支援すると述べた。

## （２）干ばつによる政府の緊急事態宣言発出

６月２９日に、非常事態宣言を発出することを閣議決定し、リスクが最も高い赤色警報としてフランシスコ・モラサン県、チョルテカ県、ラ・パス県、バジェ県、コマヤグア県、エル・パライス県の６県７５自治体、黄色警報が８県７１自治体、緑色警報が９県８８自治体に出されていたが、８月２７日、緊急事態対応省（COPECO）は、干ばつの影響を受けて、更に２８自治体を赤色警報に引き上げた。これにより、２９８自治体のうち１０３自治体が赤色警報となり最大警戒レベルとなった。また、他にも８２自治体が黄色警報、４８自治体が緑色警報となっている。赤色警戒の自治体は、主に国内南西部及び南部８県（フランシスコ・モラサン県２３自治体、エル・パライス県及びチョルテカ県各１６自治体、レンピーラ県１４自治体、ラ・パス県１３自治体、バジェ県９自治体、インティブカ県８自治体、コマヤグア県４自治体）にまたがっている。

## ２ 外交

### （１）アスフラ大統領のコロンビア大統領就任式への出席とコロンビア地震への連帯表明

ア ８月７日、アスフラ大統領がコロンビアのデラエスプリエジャ大統領の就任式に出席した。それに先立ち、６日にカリ市庁舎において、デラエスプリエジャ大統領と会談した。会談において、両首脳は、二国間関係の強化に向け、地域統合、投資、教育等の優先事項について協議した。

イ １１日、アスフラ大統領は、自身のSNSを通じ、コロンビアで発生した強い地震を受け、同国国民及び政府に対する連帯を表明した。同大統領は、被災した家族及び困難と痛みを直面している人々のため、ホンジュラスから祈りを捧げると発信した。

### （２）国防大臣、治安大臣のイスラエル訪問

８月２０日付各紙は、ロドリゲス国防大臣とベラスケス治安大臣がイスラエルを訪問し、サール・イスラエル外務大臣と会談した際に、サール大臣は、この会合を両国間の協力拡大の「重要な一歩」と評価すると共に、アスフラ政権がハマスとイラン革命防衛隊をテロ組織と宣言したことに感謝の意を表したと報じた。

### （３）ベリーズ首相の来訪

８月２４日、アスフラ大統領は来訪したブリセーニョ・ベリーズ首相と会談し、二国間関係の強化を目的とした保健、貿易、投資、安全保障、教育などの両国の関心分野について協議した。その中で、右事項の強化のための貿易交流協定の署名についても話し合われた。また、アスフラ大統領は、空路の接続性を進める重要性から、ベリーズが中米航空運行サービス協会（COCENA）に関連した取り組みに参加

する可能性や空港機能強化、オープンスカイ政策等、中米の更なる統合の重要性を強調した。

#### （４）米国貿易開発庁（ＵＳＴＤＡ）次官の来訪

８月２７日、アスフラ大統領とハーディ米国貿易開発庁（ＵＳＴＤＡ）次官が会談し、ホンジュラスの開発促進と投資環境の改善が期待される分野であるインフラ、物流、エネルギーに関する取り組みについて議論した。会談後、アスフラ大統領は、主要な港湾、空港、道路やエネルギー問題のための交流プラットフォーム設置などについて話し合ったと述べた。その中で、港湾インフラへの投資の可能性を強調し、太平洋側サンロレンソの港湾開発や大西洋側のカスティージャ港や、コルテス港の強化についても言及した。

＜主要経済指標＞

| ◇主要経済指標       | 2025 年   | 2026 年   |          |          |
|---------------|----------|----------|----------|----------|
|               |          | 4 月      | 5 月      | 6 月      |
| インフレ率（前年同月比）  | 4.96     | 5.56     | 6.09     | 5.83     |
| 貿易収支（百万ドル）    | ▲6,234.7 | —        | —        | —        |
| 輸出（百万ドル）      | 12,227.2 | —        | —        | —        |
| 輸入（百万ドル）      | 18,461.9 | —        | —        | —        |
| 外貨準備高（百万ドル）   | 10,219.1 | 11,596.0 | 11,552.2 | 11,511.1 |
| 外国からの送金（百万ドル） | 11,904.4 | —        | —        | —        |
| 為替レート（対ドル月平均） | 26.48    | 26.70    | 26.76    | 26.83    |

（出典：ホンジュラス中央銀行）

（了）